

教師のための

言語・コミュニケーション

アセスメントツール



こちらの資料は、長期研修生が作成したものです。
第8分科会 特別支援4-1 研修報告書及び発表動画を
ご覧になっていただいてからお使いください。
先生方の参考になれば幸いです。
対象：知的障害特別支援学校の小学部の児童
内容：児童の実態把握をするアセスメントツールです。

教師のための 言語・コミュニケーション

アセスメントツール

このアセスメントツールは、

子どもたちの「言語面」「コミュニケーション面」の力

を知るためのものです。

STEP1 「事前フローシート」と
STEP2 「対面チェックシート」の 2つを使用します

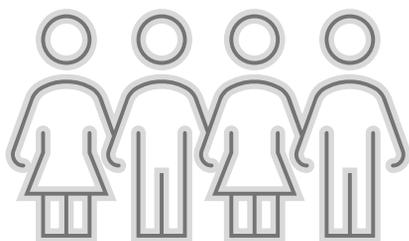


STEP1

事前に教師が
YES/NO形式で回答

STEP2 (いずれかのステージ(色)を1つ)

子どもと対面して複数の課題を実施
→ できることをチェック！



「たくさんの語彙を知っていた！」
「実は、〇〇が苦手だったのかも？」
など、新たな発見につながる

使い方

STEP 1

事前フローシート

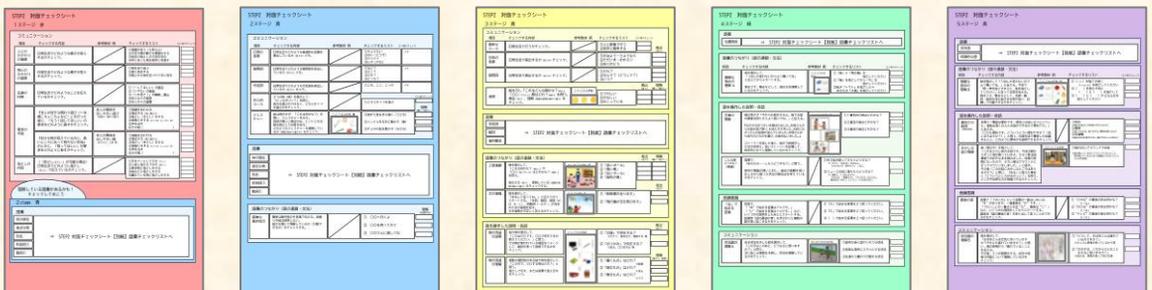
- (1) 日頃の子どもの姿を思い浮かべて、上から順番に YES/NO で回答します。
- (2) YESが続く場合は、次の項目へ進みます。最初にNOとなったところが、子どものステージの目安になります。
- (3) 目安となったステージを確認し、次のステップへ進みます。



STEP 2

対面チェックシート

- (1) ステップ1で見定めたステージのチェックシートを1枚選びます。
- (2) 教師が児童と対面し、問いかけや絵の提示を通じて、「語い」「語のつながり」「語を操作した説明や会話」「音韻意識」「コミュニケーション」の5つを評価します。
- (3) 各項目について○×やメモで記録をします。問いかけの具体例が記載されており、絵が必要な項目には、文部科学省著作教科書 特別支援学校小学部知的障害者用（星本）の該当ページが示されています。星本ではなくても、同様の絵カードや絵本を活用してもよいです。



児童のできることや得意なことを発見し、より効果的な指導につなげる手がかりとなります。

このシートでは
子供の姿を思い浮かべながらYESとNOをチェック
します。そして5つのステージを見定めます。

表出できる言葉は未獲得
(理解している言葉はあるかもしれない)

コミュニケーションの基礎を
築きつつあるステージ

ここからスタート

日常的に 1語以上の
意味のある言葉を使う

NO

(発音は正確でなくてもよい)

YES

“意味のある言葉(有意味語)”があるかチェック。
特定の事(物)にいつも同じ音声が使われていて、
身近な大人に伝わるものも○です。
(例:「とと」=トイレということが 担任には分かる)

2ステージ 青

1語の意味のある言葉
による表現が可能

2語以上の言葉をつなげる
語連鎖の獲得に
向かいつつあるステージ

日常的に 2語以上の
言葉をつなげて言う

NO

(発音は正確でなくてもよい)

YES

3ステージ 黄

2語以上の言葉をつなげた
語連鎖の表現が可能

“2語文(例「バスきた」「本ちょうだい」「ぼくの靴」)など”
があるかチェック。
ここでの「言葉」は、話し言葉のことをいいます。
身振りや指さしは別とします。

語連鎖の表現を使って
文をつなげて話す力を
広げつつあるステージ

日常的に 文をつなげて
出来事を順序どおりに話す

NO

YES

4ステージ 緑

出来事について
複数の文で話すことが可能

“学校や家庭の出来事を言葉で表現できるか”をチェック。
時系列に沿っていること、話題がそれずに一貫していること
が必要です。
(例:昨日、花火見たよ。ドーンって大きい音がしたよ。)
(例:トイレ行って、手を洗って、牛乳を持ってきたら、給食を
食べるの。)

相手の話を聞いて、
関連する内容を話すことが
可能になりつつあるステージ

知っている言葉をもとに
関連する他の言葉を
考えて話す

NO

YES

5ステージ 紫

ものごとを連想して
考えながら話すことが可能

“相手からの問いかけを聞いて、
言葉を連想して応答できるか”をチェック。

- 例 Q1 リンゴは赤い。バナナは?(黄色い)
Q2 石は固い。風船は?(やわらかい)
Q3 太鼓はたたく。笛は?(吹く)
Q4 朝はおはよう。寝るときは?(おやすみなさい)

「考えて話す」という姿が見られて、内容が合っていれば
○です。

助詞・助動詞を使った
複雑な表現が
可能になりつつあるステージ

1 ステージ 赤

コミュニケーション				
項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	○×でチェック
人との かかわり の基礎	日常生活でどのような様子が見られるかチェック。		①視線が合う（5秒以上） ②手足や顔の動きを模倣をする ③相手の指さしの方向を見る ④手に持った物を相手に手渡す	
物との かかわり の基礎	日常生活でどのような様子が見られるかチェック。		①物を目で追う ②音に反応する ③隠された物を見つけて手に取る	
伝達の 内容	日常生活でどのようなことを伝えているかチェック。		①「～してほしい」の要求 ②「いやだ」の拒否 ③「これ見て！」の興味・関心 ④本人なりの挨拶 ⑤本人なりの返事	
要求の 手段	『本人が好きな関わり遊び（一本橋こちょこちょなど）』を行った後に、「もう1回してほしい」の要求をどのように表すかチェック。	本人が興味を示しやすい遊び (手遊び、関わり遊び)	①視線を合わせる ②接近する（体に触れる） ③指さし（手さし）をする ④身振りをする（もう1回、ちょうだい など） ⑤声を出す ⑥その他（ ）	
	『好きな物が見えているのに、高いところにあって取れない状況』のときに、「取ってほしい」の要求をどのように表すかチェック。	本人が興味を示しやすい物 (おもちゃ、人形 など)	①視線を合わせる ②接近する（体に触れる） ③指さし（手さし）をする ④身振りをする（もう1回、ちょうだい など） ⑤声を出す ⑥その他（ ）	
指さしの 内容	（「指さし（手さし）」が可能な場合）日常生活でどのように指さし（手さし）で伝えているかチェック。		①手をパーにして示す（手さし） ②人差し指だけで示す（指さし） ③具体物に指さしをする ④絵などに指さしをする ⑤離れている物に指さしをする	

理解している語彙があるかも！
チェックしておこう

2 ステージ 青

語彙

体の部位

身近な物

色名

形容詞①

動詞①

⇒ STEP2 対面チェックシート【別紙】語彙チェックリストへ

2ステージ 青

先生方へ：項目のチェックを行うときは、一番はじめにヒント（やり方）を示してよいです

コミュニケーション

項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	
日常の言葉	日常生活でどのような基礎的な言葉を表出しているか（言うか）メモ。		①ちょうだい ②はい（どうぞ） ③バイバイ ④いや（やだ）	メモ
疑問詞	日常生活でどのような疑問詞を表出しているか（言うか）メモ。		①なに？ ②どこ？ ③どれ？ ④どっち？	メモ
代名詞	日常生活でどのような代名詞を表出しているか（言うか）をメモ。		①これ、ここ、こっち	メモ
対人的ルール	2つの物（絵）を提示して、「どっちがいい？」を問う。両方を選ぶのではなく、どちらか1つを選ぶかをチェック。		①どちらか1つを選ぶ	○×でチェック 理解 (聞く→指さし)
ジェスチャー	絵は提示せず、「これは何かな？」を問う、ジェスチャーを示す。回答が難しい場合のみ、ヒントとなる絵を提示して回答を促す。どのようなジェスチャーを理解しているか（複数の絵から選ぶか）をチェック。	こくご☆☆P78 	①両手で耳を作り頭へ（うさぎ） ※こくご☆☆P78 ②ハンドルを左右に動かす（車） ※こくご☆☆P34 ③チョコキの指を動かす（はさみ） ※こくご☆☆P83	

語彙

体の部位	⇒ STEP2 対面チェックシート【別紙】語彙チェックリストへ
身近な物	
色名	
形容詞①	
動詞①	

語彙のつながり（語の連鎖・文法）

項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	理解 (行動する)
簡単な動作指示	簡単な動作指示を言葉で伝える。身振りや絵は使用しない。指示を聞いて理解しているか（行動できるか）をチェック。		① ○○へ行くよ ② ○○を持ってきて ③ ○○さんに渡してね	

3ステージ 黄

先生方へ：項目のチェックを行うときは、一番はじめにヒント（やり方）を示してよいです

コミュニケーション				
項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	○×でチェック
簡単なルール	日常生活で行うかチェック。		①人と順番で行う ②相手と競争する	<input type="checkbox"/>
日常の言葉	日常生活で表出するか（言うか）チェック。		①おはようーさようなら ②ただいまーおかえり ③ありがとう	<input type="checkbox"/>
疑問詞	日常生活で表出するか（言うか）チェック。		①なに？ ②だれ？ ③どこ？	<input type="checkbox"/>
表情	絵を示し「これはどんな顔かな？（表出）」 「○○（うれしい）顔はどれ？（理解）」を問う。 表出（言う）、理解（複数の表情の絵から選ぶ）を チェック。	こくご☆P98 	①うれしい ②かなしい ③おこっている	表出（言う） <input type="checkbox"/> 理解（聞く→指さし） <input type="checkbox"/>

語彙	
形容詞	⇒ STEP2 対面チェックシート【別紙】語彙チェックリストへ
動詞	
量的概念	

語彙のつながり（語の連鎖・文法）				
2語連鎖	絵を提示して、 「これは何かな？（表出）」や 「○○（赤いボール）はどれかな？（理解）」 を問う。 表出する（言う）、理解している（複数の表 情の絵から選ぶ）をチェック。	さんすう☆P46-47 	①「赤いボール」 ②「青い車」 ③「白いボール」 ④「緑の車」	表出（言う） <input type="checkbox"/> 理解（聞く→指さし） <input type="checkbox"/>
文の復唱	絵を提示して、 「まねして言ってね。」と伝えてから スタートする。「名詞、動詞、助詞（が、 は、を、に）、助動詞（～ます）」が含 まれた文の復唱を促す。 文を省略せず正しく言えるかチェック。	こくご☆P10-11 	①「新幹線が走ります」 ※こくご☆P6-7 ②「飛行機が空を飛びます」 ※こくご☆P10-11	表出（言う） <input type="checkbox"/>

語を操作した説明・会話				
物の用途の説明	絵や物を提示して、 「これは○○です。○○で何をするか 教えてください。」と問う。 その物が使われている場面をイメージ して、動詞を使って説明できるかを チェック。	こくご☆P64 	①「太鼓」で何をする？ ※たたく、音を出す、演奏する など ②「おりがみ」で何をする？ ※折る、○○を作る など	表出（言う） <input type="checkbox"/>
物の用途の理解	複数の選択肢のある絵や物を提示して、 「この中で、○○する物はどれ？」と 問う。 指さしで示す、または言葉で言えるか をチェック。		①「書くもの」はどれ？ ※鉛筆 ②「読むもの」はどれ？ ※ほん ③「乗るもの」はどれ？ ※バス	理解（指さし、言葉） <input type="checkbox"/>

4ステージ 緑

先生方へ：項目のチェックを行うときは、一番はじめにヒント（やり方）を示してよいです

語彙

位置関係

⇒ STEP2 対面チェックシート【別紙】語彙チェックリストへ

語彙のつながり（語の連鎖・文法）

項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	○×でチェック
複雑な指示の理解 A	<p>絵を提示して、「1回しか言わないからよく聞いてね」と伝えてからスタートする。</p> <p>指をさす、触るなどして、指示文を理解しているかをチェック。</p>	<p>こくご☆☆ P30-38</p>  <p>こくご☆☆P34</p>	<p>①「車」と「飛行機」を指さしてください ※こくご☆☆P34</p> <p>②「猫」を指さしてから「牛」を指さしてください ※こくご☆☆P30</p> <p>③私が「トマト」を指さしたらあなたは「大根」を指さしてください ※こくご☆☆P36</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

語を操作した説明・会話

文章の理解	<p>絵は見せず「今からお話をするよ。後でお話の順番を聞くからよく聞いてね。」と伝える。</p> <p>『女の子はおつかいを頼まりました。お母さんからお金を受け取り、お店に行きました。お店にはたくさんの品物が並んでいました。お母さんから言われたものを選び、お金を払いました。』</p> <p>ストーリーを話した後に、絵を3枚提示し、①②③を問う。短いストーリーを記憶して、時系列どおりに理解しているかをチェック。</p>	<p>こくご☆☆P12-19</p>  <p>こくご☆☆P14-15</p>	<p>①1番初めの絵はどれかな？</p> <p>②2番目の絵はどれかな？</p> <p>③3番目の絵はどれかな？</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
こんな時どうする？（推論）	<p>言葉で、「あなたは～したらどうする？」と問う。</p> <p>架空の場面の問いに対し、過去の経験を思い出しながら困った状況の解決法を考えているかをチェック。</p>	/	<p>①外で雨が降ってきたらどうする？ ※「かさ」「ぬれる」のみは△。 「かさをさす（雨やどり）」は○。</p> <p>②ジュースが床に落ちたらどうする？ ※「雑巾」「ごめんさい」「汚れる」「着替える」「片づける」などは△。 具体的な「拭く」というワードがあれば○。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

音韻意識

「あ」で始まる言葉	<p>言葉で、「“あ”で始まる言葉はアメです。」 「“い”で始まる言葉はイカです。」など、いくつかの説明をしたあとにスタートする。</p> <p>語頭音（語の最初の音）を手がかりに複数の語を思い起こせるかをチェック。</p>	/	<p>①「か」で始まる言葉を2つ言ってください。</p> <p>②「た」で始まる言葉を2つ言ってください。</p> <p>③（ ）で始まる言葉を2つ言ってください。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-----------	--	---	--	--

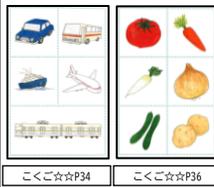
コミュニケーション

状況画の理解	<p>ある状況を示した絵を提示して、「この子はこのあと、どうなると思いますか？」と問う。</p> <p>次に起こる場面を予測し、状況を理解しているかをチェック。</p>	<p>せいかつ☆☆☆P18-21</p>  <p>せいかつ☆☆☆P18</p>	<p>①信号が赤に変わりそうな状況 ※せいかつ☆☆☆P18</p> <p>②危険な場所に入ろうとする状況 ※せいかつ☆☆☆P21</p> <p>③友達から離れて行動する状況 ※せいかつ☆☆☆P20</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
--------	--	--	--	--

5 ステージ 紫

先生方へ：項目のチェックを行うときは、一番はじめにヒント（やり方）を示してよいです

語彙	⇒ STEP2 対面チェックシート【別紙】語彙チェックリストへ
反対語	
時間的な語	

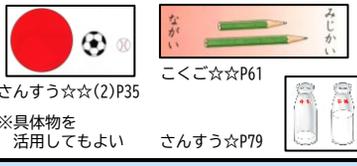
語彙のつながり（語の連鎖・文法）				
項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	○×でチェック
複雑な指示の理解 B	絵を提示して「1回しか言わないのでよく聞いてね。」と伝える。手本で「例：車を指さすまえに、船を指さしてください」と言って正答を伝える。指をさす、触るなどして、名詞・動詞・助詞を含む指示文を聞き取り、記憶して行動できるかをチェック。	こくご☆P30-45  こくご☆P34 こくご☆P36	① (トマト) を指さす前に (じゃがいも) を指さしてください ② () を指さす前に () と () を指さして ③ () と () のどちらかを指さしてください	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

語を操作した説明・会話				
便利さの説明 (論理的表現)	言葉で「電話は便利です。便利とは役に立つということ。電話は遠くの人とお話ができるので便利です。」と伝える。 「〇〇も便利です。どういうふうに便利ですか？（役に立ちますか？）」と問う。日常生活で獲得した知識をもとに、どのように便利かを説明できるかチェック。	/	①時計 ※時計を見ると今何時かがわかる など ②電車 ※遠くへ行ける、速く行ける、荷物を運べる など ③洗濯機 ※服を洗える、服がきれいになる など	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
矛盾した話の理解	絵（男の子）を指さして、「これはタカシ君のお話です。今日は朝からずっと雨が降っています。タカシ君は図書室で好きな本を読みました。体育の時間になったので、タカシ君はグラウンドに行ってマラソンをしました。」と話す。 その後「このお話におかしなところはありますか？」と問い、「ある」と答えた場合に「どういうところがおかしい？」を問う。どこが不自然なのか指摘できるかチェック。	こくご☆P32 	①雨の日にグラウンドで体育 ※雨が降っているのにグラウンドに行ったこと、雨が降っているから外で体操はできないということが不自然	<input type="checkbox"/>

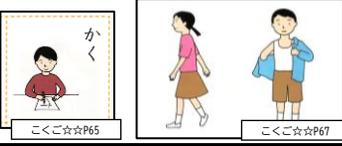
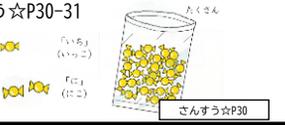
音韻意識				
最後の音	言葉で「『すいか』という言葉の一番はじめには、“す”があります。一番最後は“か”です。」 「『たいこ』の一番はじめは“た”、最後は“こ”」など、いくつかの説明をしてからスタートする。 語尾音（語の最後の音）を取り出して言うことができるかをチェック。	/	① “さかな” の最後の音は何かな？ ※「な」 ② “はさみ” の最後の音は何かな？ ※「み」 ③ “テレビ” の最後の音は何かな？ ※「び」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

先生方へ：該当するステージ（色）の項目を行ってください。必要に応じて、その前後のステージも試してみるのもOです。

2
ス
テ
ー
ジ
青

項目	チェックする内容	参考教材 例	チェックするリスト	表出 (言う) ○×でチェック	理解 (聞いて指さす)
体の部位	「これは何かな? (表出)」や「〇〇はどれかな? (理解)」を問う。 どの語彙を表出・理解しているかをチェック。	こくご☆P40-43 ※教師や人形の体の部位を示してもよい 	①かお (目、口、鼻、耳、頭) ②からだ (手、足、指、おなか)		
身近な物	「これは何かな? (表出)」や「〇〇はどれかな? (理解)」を問う。 どの語彙を表出・理解しているかをチェック。	こくご☆P78-87 ※具体物を活用してもよい 	例：みかん、桃、めがね、豆、虫 など ① () ② () ③ ()	表出 (言う)	理解 (聞いて指さす)
色名	「〇〇はどれかな? (理解)」や「これは何色? (表出)」を問う。 どの色を理解・表出しているかをチェック。	こくご☆P58-59 さんすう☆☆(2)P14 	①あか ②あお ③きいろ ④みどり		
形容詞①	「〇〇はどれかな? (理解)」や「これは何かな? (表出)」を問う。 どの形容詞を理解・表出しているかをチェック。	 さんすう☆☆(2)P35 こくご☆P61 ※具体物を活用してもよい さんすう☆P79	①大きい (小さい) ②長い (短い) ③多い (少ない)		
動詞①	「〇〇はどれかな? (理解)」を問う。 どの動詞を理解しているかをチェック。	こくご☆P12-15、P28-33 	例：遊ぶ、食べる、走る、泳ぐ、読む など ① () ② () ③ ()		理解 (聞いて指さす)

3
ス
テ
ー
ジ
黄

形容詞②	「〇〇はどれかな? (理解)」や「これは何かな? (表出)」を問う。 どの形容詞を理解しているかをチェック。	 さんすう☆☆(2)P41 こくご☆P61 さんすう☆☆(2)P28-47 さんすう☆☆(2)P32, 33	①高い (低い) ②重い (軽い) ③広い (狭い)	表出 (言う) ○×でチェック	理解 (聞いて指さす)
動詞②	「〇〇はどれかな? (理解)」を問う。 どの動詞を理解しているかをチェック。	こくご☆P65-67 	例：書く、見る、読む、折る、乗る、履く、脱ぐ、歩く など ① () ② () ③ ()		理解 (聞いて指さす)
量	「〇〇 (1個) はどれかな? (理解)」を問う。 数量を理解しているか (複数の絵から選ぶか) をチェック。	さんすう☆P30-31 	①1個 ②2個 ③たくさん		

4
ス
テ
ー
ジ
緑

位置①	「〇〇はどこにあるかな? 机の...? (表出)」を問う。 「上・下」を言葉で表出しているかをチェック。	さんすう☆☆☆P60-61 ※具体物を活用してもよい 	① (ボールはどこ? 机の...) 下 ② (本はどこ? 机の...) 上	○×でチェック 表出 (言う)	理解 (聞いて指さす)
位置②	「一番うしろにいるのは誰かな? (理解)」を問う。 「前・後ろ・横」を指さしや言葉で理解しているかをチェック。	さんすう☆☆(1)P48-49 	① (一番うしろは誰?) きりん ② (きりんの前は誰?) ぞう ③ (きつねの横は誰?) パンダ		理解 (言われて分かる)

5
ス
テ
ー
ジ
紫

反対語	「大きい」の反対は「小さい」です など、いくつかのヒントを伝える。 身振り示してもよい。その後「〇〇の反対は何かな?」と問う。 どの反対語を言えるかをチェック。		①「新しい」の反対は? (古い) ②「寒い」の反対は? (暑い) ③「安い」の反対は? (高い) ④「深い」の反対は? (浅い)	○×でチェック 表出 (言う)	
時間的な語	それぞれの時間的な語を理解し、言えるかをチェック。	①「月曜日の次は火曜日です。では火曜日の次は何曜日かな?」(水曜日) ②「今日の次の日のことを何と言うかな?」(明日) ③「今日の前の日のことを何というかな?」(昨日) ④「春の次は夏です。では、夏の次は何という季節かな?」(秋)			